

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	望月 徹（3）	<p>1. 定年延長に伴う諸課題について</p> <p>令和5年度より、国家公務員の定年延長に伴い、地方公務員の定年も60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引き上げられることになりました。定年延長後の給料は年間約4000万円増となり、このペースで換算すると10年後には約2億円増が見込まれます。この措置を実施していくに当たり、行政サービスの向上に向け、幾つかの懸案事項に対し、以下質問します。</p> <p>(1) 定年延長に伴い経験豊富なスキルの高い人材が確保されていくと考えますが、その活用をどのように考えていくのか、当局の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 定年退職が伸びることにより、退職手当が発生しない年があり、定年引上げ期間中の10年間は、現行制度に比べ、合計約50億円の歳出減となる見込みです。債務の先延ばしとなる資金の使途をどのように計画されていくのか、当局の見解をお伺いします。</p> <p>(3) 本市の新規採用は、定年退職者の補充を含めて実施してきた経緯があります。定年退職者がいない年が10年間のうち5年間あります。バランスを必要とする新規採用について、どのような計画を立てていくのか、当局の見解をお伺いします。</p> <p>2. 西富士道路新IC設置の早期実現を</p> <p>西富士道路の新インターチェンジの設置については、令和2年、地元から要望があり、新設に向け、国・県・市で構成された西富士道路新IC設置推進部会を設け、必要性を把握し、活用の検討を進めてきたと聞いております。</p> <p>新インターチェンジの必要性については、議論もされており、申すまでもなく、本市において地域経済の活性化に大きく寄与していきます。</p> <p>このような中、地元産業・経済界、特に運送業界からは早い設置を強く要望されており、早期実現に向け、以下質問いたします。</p> <p>(1) 本市として、推進している進捗状況についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 新インターチェンジの果たすべき役割と期待する効果について、当局の見解をお伺いします。</p> <p>(3) 実現に向けた取組、目標年についてお伺いします。</p>	市長 及び 担当部長